

質問へのご回答

以下、質問にお答えさせていただきます。

具体的な交流活動の内容は、都市の選定が終わった後に、相手都市及び EC 側事務局と協議して決まることとなりますので、あくまでも現段階での想定に基づく回答であることをご了承ください。

	質問	回答
1	<p>別添「EU 国際都市間協力プロジェクトへの日本都市の参加について」</p> <p>「4. 参加都市に求められること」のうち、「パートナーとなった欧州都市との間での 18 カ月間にわたる協力実施」とは具体的にどのような内容を想定されているのでしょうか？</p> <p>※1：前回実施内容としては、連携期間中ずっと連絡を取り合ってプロジェクトを推進するという形というよりは、交流イベントの前後に集中してイベントに向けた取組について協力を行うような形だったと伺っていました。</p> <p>※2：18 カ月間の間、常にコンタクトをとりながらパートナー都市とプロジェクトを行う想定があるのかと思ってお尋ねしました。（仮に参画させて頂くことになった場合に、対応する職員をどのような形で職務にあたらせる必要があるのか（常にコンタクトをとる必要があるとなると、専属の職員が必要になる可能性もあるのかと考えました）、検討するための材料としてお聞きしました。）</p>	<p>18 カ月間はプロジェクト実施期間であり、その期間内に交流イベントを相互に実施するという事です。「※1」でご提示いただいたようなご理解で結構です。</p> <p>相手都市と密接にコンタクトを取りつつ推進する必要がありますがあり、活動内容によっては、担当職員はこのためにかなり時間をとられることが予想されます。専属の職員が必要とまでは言えませんが、何らかの措置は検討しておいていただいた方が安心かと思えます。</p> <p>なお、18 カ月間というのは、有意義な交流成果をあげるために、最低限必要な期間として設定しています。</p>
2	<p>同様に「欧州で開催される 1 週間の交流会議への出席」とありますが、これは全自治体が当該交流会議に一堂に参加するというのでしょうか。</p>	<p>欧州での交流会議をどのように開催するかはまだ決まっていますが、駐日欧州連合代表部の担当者からは、1つの可能性として、日本の 4 都市と欧州の 4 都市がブリュッセルで一堂に会した後に、各都市を訪問するという案が出されてはいます。</p>
3	<p>一方、「3.」の最後の文章にて、パートナー都市の視察にあたって、市職員 2 名分までの旅費が出ると記載されています。すなわち、以下のパターンが考えられるのですが、いずれに合致するのでしょうか。</p> <p>ア：欧州での交流会議への出席＋パートナー都市への視察を 1 週間の間でそれぞれ実施</p> <p>イ：欧州での交流会議とパートナー都市への視察は別に実施し、交流会議は 1 週間行う。（視察については任意の期間）</p> <p>ウ：交流会議とはパートナー都市への視察を意味する（欧州への渡航は 1 回のみ）</p>	<p>「交流会議」という言葉は、ここでは、ブリュッセルで複数の都市が参加する会議と、パートナー都市で開催する会議の両方を厳密に区別せずに使っています。</p> <p>上記 2 で回答したようなやり方を採用する場合には、ブリュッセルで 4 都市が参加する全体交流会議を行った後に、各都市で個別交流会議を行うこととなります。その場合は、ご照会の「ア」に近いものになりますが、パートナー都市では視察と会議を合わせて行うこととなります。</p>
4	<p>旅費については、市職員 2 名までとありますが、これは特別職（市長、副市長）も市職員に含みますでしょうか。</p>	<p>特別職も含みますが、旅費はエコノミークラスの料金になります。ビジネスクラスの場合の追加料金をご負担ください。</p>